

第5回島原市市勢振興計画審議会 審議概要

令和元年11月19日(火) 13:30~15:40

杉谷公民館 大ホール

委員24名中20名出席

次 第

1. 第7次島原市市勢振興計画(基本構想、前期基本計画)(案)の検討
2. 意見交換

概 要

○事務局から資料に沿って説明が行われた。

(委員からの意見(抜粋))

- ・AI・RPA等については市民に分かりやすいように表現してもらいたい。何が出来て何が変わるのかなど。
- ・計画の中に、庁内連携や市民の活躍をサポートしていこうとか、市や市民がどういう姿勢で取り組んでいくかについての記載がないと思っている。今までのやり方では難しかったところをどういう方向性で変えていくかについて、場合によっては表現してもいいのではないかと思う。
- ・ブランド化は時間がかかることであり、地元の方の認知がまだまだだと思う。地元の特産品に興味を持ちましょうということを協働の取り組みに入れてはどうか。
- ・インバウンドを踏まえて、外国人観光客が感じる魅力的な施設は違う感覚があると思うので、観光施設の整備のところの表現を考えてみてほしい。
- ・島原病院の充実(診療科やベッドの確保など)についても入れたほうがいいのではないか。
- ・協働の取り組みが入っているのはいいことだが、言い方が単調かなと思う。もっと市の役割や市民への強いメッセージがあってもいいと思う。

○意見交換

(委員からの意見(抜粋))

- ・目標を達成するためのスピード感と進捗状況のチェックも求められると思う。行政の進捗を見守るだけでなく、進捗状況を審議するための、民間委員がいる実行委員会のような組織を設けることも一案だと思う。
- ・基本目標6つを進めていくにあたっての基本的な姿勢が示されていないと思う。企業や市民と連携していくのか、行政がやって足りないことをお願いするのか、どういうふうに検証をしてPDCAを回していくのか、AI・RPAをどのように取り入れるのかなど。積極的に協働していくとか、RPAなど機械化していくとか、市としての姿勢を示すことがいいと思う。

- ・ 10年後の島原の計画として、わくわく感が無いなと思う。市外に向けて島原の魅力を情報発信していく、民間の力を借りながらやっていきたいと言えば、民間もやる気になって活気が出てくると思う。

以 上